

こんにちは。今回の訪問看護の小部屋は前回に引き続き、小田原地区市民講座で紹介された、利用者様とご家族のエピソードをお送りいたします。

# 訪問看護 感動エピソード part2

1. 本当に幸せな人生だった

“22年前に夫を亡くし、子供がいなかったので、  
多くの趣味を持ち、人生、目いっぱい楽しむことが信条 だった”

“ゴルフ、旅行、社交ダンス、カラオケ、  
仲間との飲み会・・・そして編み物・・・  
編み物は40年間続けて、自宅で教室を開いた。  
おしゃれも大好き、スタイル抜群！”

“師走の半ば、ゴルフ中・・・腰痛が出現。  
クリスマスには激痛で歩行もままならない。  
検査で末期がんの宣告を受けた。

・・・ホスピスを勧められた。

しかし、どうしても首を縦にふれず、ずっと悩んでいた”

“介護用品を求めた店から、  
地域包括支援センターを紹介され、  
トントン拍子で  
訪問看護、訪問診療がつながり  
在宅サービスが整った”



“在宅療養が始まり，通院の負担がなくなり，痛み調節も上手くゆき，再び歩行可能。  
訪問のリハビリで，療法士と一緒にイトーヨーカ堂にも行けた。

主治医から，1カ月の余命宣告を受けた。  
その月，友人たちとカラオケで9時間も歌い，  
ポテトを食べて焼酎も飲んだ。

楽しかったあ．．．．．”



“旅立つ2週間前まで．．．  
自宅2階で，訪問看護には内緒で，  
編み物教室の生徒さんに教えていた。  
営業を知られたら，  
「そんなに元気なら」って，  
訪問を減らされると思い込んでいた”

“気に入った写真で遺影を準備した。  
エンディングノートも作成した。  
文月の葬儀には100人を超える参列者”

“本当にしあわせな人生だった”



2. 「家が一番」どうしても  
家に帰りたい

手術して間もないのに“すぐに家に帰りたい”と言われました。

抜糸した日に主治医に本人が懇願し退院されました。

家に帰ると奥様に“お前が大変だろう？このまま家に居ていいか？”と何度も訊ね、その度に「ここにいてくれるだけでいいわよ」と奥様はやさしく言われました。



## “「家が一番」どうしても家に帰りたい”

「本当に家が好きで、仕事で出張してもトンボ返りする人でした」と奥様。

「自宅で療養している父は、いつもとても穏やかな表情で、『何のストレスもないんだね、幸せだね』と言うと、嬉しそうに微笑んでいました」と娘様。



生前、氏は言われていたそうです。

“自分が死んでも、あえて誰にも知らせる必要はない。共同墓地に入って、そばを通った時にでも手を合わせて貰えればそれでいい。人に負担をかけたくない、悲しいと思ってもらうのも申し訳ない・・・”

「色々な方々に助けていただき、最期まで家で見てあげられて本当に良かった」と奥様。

ですが奥様・・・、私たち（訪問看護師）にはこう言われていましたよ  
“僕は妻が心配なんです。だからそばにいないとダメなんです”

素晴らしいご家族の大きな深い愛情に、私たちは感動をいただきました。



3. 「最期は笑って見送ってよ」

さまざまな治療の甲斐なく、余命宣告を受けた。

“娘と、会社の人みんなのために頑張らなきゃ・・・

今までは我慢して治療を受けてきた。

けど、もう充分辛い思いをしてきた。

最後まで、好きにやらせてもらいたい。

お酒でも飲みながら、楽しく笑って死んでいきたい”



ご家族が毎日、好物を買ってきて  
食べたり飲んだり、

体調が悪化しても、わがままを言えた。

焼酎のお湯割、訪問看護で介助して飲ませて差し上げる。

・・・ときには出前のピザをとり。



“これが最後になる”と言われた温泉旅行では、

ご家族、訪問看護師、ヘルパーと、美味しいものを食べ、

温泉に入り、カラオケしながらお酒も飲んだ。

数日後、徐々に意識が落ちてゆく・・・

“まだ足りないくらいだけど、そろそろいいかな。よく笑ったよ”

## 「最期は笑って見送ってよ・・・」

いよいよ、反応もなく呼吸が変わってゆく・・・

ご家族と近親者が周りに集まった。

「この後どうなるの？」と娘さん。

「息が止まるのを見届けてやるんだよ」とご主人。



止まった？・・・あっ、また呼吸した  
頑張ってる？

・・・もう呼吸しなくなったね

止まったか

静寂の中で、みんなの声が聞こえてる

傍にいることをちゃんと感じて

本人が望まれた“最期は笑って・・・”

みんな笑ったけど・・・涙が止まらない

# ～終わりに～

私たち訪問看護師は、利用者様・ご家族の思いに寄り添いながら支援しています。

ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

# ～お知らせ～

最後までお読みくださりありがとうございました。  
次回は2月頃、「訪問看護あるある part2」をお届けする  
予定です。

ご意見・ご感想・今後取り上げてほしいテーマなどござ  
いましたら、「ホームページからのお知らせ」から  
お願いいたします。

※お問い合わせ内容には「小部屋」とお書きください。

広報委員一同